

海底土セシウム 134・137 の濃度連続計測に成功

当研究所と東京大学生産技術研究所は 2012 年 9 月 6 日、都内で共同記者会見を開催し、海底土のセシウム 134・137 の濃度を 15km にわたって連続計測することに成功した、と発表しました。会見には当研究所から小田野直光・海洋リスク評価系長、東大生産技術研から海中工学国際研究センターの浦環センター長・教授ならびにソートン・ブレア特任准教授が出席し、発表を行いました。発表内容は、次のとおりです。

観測が行われたのは、北茨城市沖合 20km・水深約 85m から 140m の海域、およびいわき市沖合 30km・水深約 110m の海域の 2カ所で、いずれも 2012 年 8 月に行われました。この結果、海底土のセシウム 134 および 137

の濃度を、前者では 12.6km、後者では 2km にわたって連続的に計測することに成功したものです。同会見には TV 局や一般紙を中心に 16 社が参加。発表後の質疑応答でも活発なやり取りが行われ、関心の高さが示されました。なお、今回の観測は、(公財) 海洋生物環境研究所および日本海洋(株)の協力を得るとともに、本研究の一部は、三井物産環境基金「2011 年度復興助成」の助成を受けて実施されています。



説明する浦環教授



記者会見の様相

低 VOC 塗料が第 10 回産学官連携功労者表彰

当研究所の低 VOC 船底防汚塗料開発・実用化チームが中国塗料株式会社、日立化成工業株式会社と共同で取り組んだ「VOC (揮発性有機化合物) と船体抵抗を低減する塗料の開発・実用化」が第 10 回産学官連携功労者表彰 (平成 24 年度) の国土交通大臣賞を受賞したのに伴い、2012 年 9 月 28 日、東京国際フォーラム (東京・有楽町) で表彰式が開催されました。当研究所からは松岡一祥理事が表彰式に出席し、表彰状を受け取りました。

「産学官連携功労者表彰」は大学、公的研究機関、企業等における産学官連携活動で大きな成果を収め、また、先導的な取り組みを行う等、産学官連携の推進に多大な貢献をした優れた成功事例に関し、その功績を称えることにより、わが国の産学官連携のさらなる進展に寄与することを目的としています。

なお、前日の 27 日から 2 日間、同じ東京国際フォーラムの B2F ホールにて受賞内容の展示が行われました。



表彰状を受け取る松岡理事



展示会場